

2025

7/12 SAT

9/1 MON

YAMANASHI PREFECTURAL MUSEUM

MINNA NO KURUMA

20TH ANNIVERSARY SPECIAL EXHIBITION

山梨県立博物館 開館20周年記念特別展

みんなのクルマ展

人と自動車の歴史と未来

休 館 日	毎週火曜日(8月12日は開館)
開 館 時 間	9:00~17:00(入館は16:30まで)
観 覧 料	一 般 1,000(840)円
	大学生 500(420)円
常設展 + 特別展共通券	一 般 1,260円
	大学生 590円

高校生以下の方、県内在住の65歳以上の方、障害者の方(およびその介護をされる方)は無料

※()内は20名以上の団体料金、県内のホテルや旅館に当日か前日に宿泊する方を対象とした割引の料金です。※無料、割引料金の対象となる方はそれぞれ証明できるものをご提示ください。※購入日から何度でも観覧できる年間パスポート(一般2,100円、大学生1,050円)もございます。

20
山梨県立博物館
Anniversary



山梨県立博物館
Yamanashi Prefectural Museum

■主催/山梨県立博物館、山梨日日新聞社、山梨放送 ■特別協力/トヨタ自動車 トヨタ博物館、Honda Collection Hall
■協力/AUTOart、KONDO Racing Team、株式会社GTアソシエーション、自動車山梨地方協力本部、株式会社SkyDrive、株式会社SUBARU、株式会社サカモト、株式会社日経、日産自動車株式会社、日本通運株式会社、一般財団法人 日本玩具文化財団、
富次警察署、富次市消防署、富士急行株式会社、富士モータースポーツミュージアム、マツダ株式会社、山梨交通株式会社
■後援/朝日新聞中野総局、NHK中野放送局、エフエム中野、エフエム富士、産経新聞中野支局、テレビ山梨、毎日新聞中野支局、山梨新報社、山梨中央銀行、読売新聞中野支局 ■協賛/日本ネットワークサービス

みんなのクルマ展

人と自動車の歴史と未来

山梨は古くから交通の結節点でした。かつて人々や牛馬は峠を越え、川を船が走り、さまざまな人や物資、文化が甲斐国を行き交っていました。その流れとスピードを大きく変えたもののひとつが「クルマ」でした。ごく一部の人のものであったクルマは、やがて庶民の「足」となり身近な存在へと変わっていきました。そして、クルマは時代を通じてステータスシンボルでもあり、「憧れ」の対象であり、「未来」の象徴であり続けています。本展では、クルマが大衆化（「みんなのもの」化）していく過程をたどるとともに、各時代を彩った魅力的なクルマもあわせて紹介します。

第1章

はしる！はたらく！だいすきなクルマ



1988 McLaren Honda MP4/4 (Honda Collection Hall蔵)

クルマには、日ごろ使っている乗用車のほかに、特殊車両や緊急車両、レーシングカーなど、さまざまな種類があります。憧れの対象でもある「はたらくクルマ」を紹介しします。

第2章

ところで、クルマってなに？

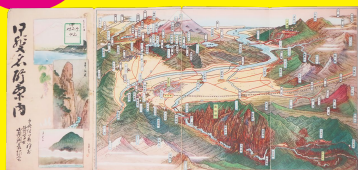


山梨県甲府勤業場之図(当館蔵)

「空飛ぶクルマ」に代表されるように、「クルマ」という言葉は従来の乗用自動車とは違った形態の移動手段にも使われています。わたしたちにとってクルマとは何でしょうか？クルマと人との関係性を歴史から探ります。

第3章

そうだ！バスでいこう！



甲斐名所案内(当館蔵)

自家用車に乗って移動できるようになる前、だれでも乗ることができた身近な自動車は乗合自動車(バス)でした。観光や日常の移動手段として利用されるようになった東京の乗合自動車事業の拡大と、山梨県でのバス事業のはじまりを紹介します。

第4章

うちにもクルマがやってきた！

乗合自動車が普及する前、クルマを持つことができたのは華族や富豪で、輸入した自動車でした。一般の人たちが所有するようになったのは戦後以降です。多くの人々がクルマを持つことによって、自動車が「みんなのクルマ」になっていった過程を紹介します。



スズキ360 DELUXE (1967年、Honda Collection Hall蔵)

第5章

クルマでかわる暮らし



トヨタ2000GT (1969年、トヨタ博物館蔵)

自動車は生活においても存在感を増し、クルマのマンガやゲーム、ミニカー、プラモデルなどが多くの世代の人々の所有欲を満たしました。また、自動車の音は車種や聞く人によって印象が変わります。クルマがもたらした物質的・文化的な側面の変遷をたどります。

関連イベント

講演会

8月2日(土)「日本の自動車のルーツを探る
-蒸気からガソリン、そして未来へ-」

講師：榊原 康裕(トヨタ博物館館長)

時間：13:30~14:30 会場：生涯学習室 ※事前申込不要

かいじあむ講座

7月20日(日)「ところで、クルマってなに？-時代が変わる車の意味-」

講師：茶園 紘己(当館学芸員)

時間：13:30~14:30 会場：生涯学習室 ※事前申込不要

学芸員によるギャラリートーク

7月20日(日)、7月26日(土)、8月9日(土)、8月24日(日)

時間：15:00から1時間程度 ※事前申込不要、特別展観覧券が必要

SUPER GT参戦

レーシングカー特別展示

7月19日(土) 時間：10:00~16:00

場所：博物館西側 職員駐車場付近

展示車両：KONDO RACING 56号車
(NISSAN GT-R NISMO GT3)

エンジン始動イベント①11:00、②14:00(いずれも5分程度)

はたらくクルマ野外展示

7月25日(金) 13:30~16:00 バトカー

8月15日(金) 13:30~16:00 消防車

8月17日(日) 10:00~15:00 自衛隊車両

場所：正面エントランス付近

※各イベントの内容は天候などにより変更または中止になる場合があります



1/2tトラック(自衛隊山梨地方協力本部提供)



山梨県立博物館
Yamanashi Prefectural Museum

〒406-0801 山梨県笛吹市御坂町成田1501-1
Tel: 055-261-2631 / Fax: 055-261-2632
E-mail: kenhaku@pref.yamanashi.lg.jp
URL: <http://www.museum.pref.yamanashi.jp>



kaiseum_ypm

アクセス

- 中央自動車道一宮・御坂ICから車で約8分
笛吹八代スマートICから車で約12分
- JR石和温泉駅南口からバスで約10分
【富士急バス／「富士山駅」行き】
- JR甲府駅からバスで約30分
【富士急バス／南口5番のりば「富士山駅」行き】
【富士急バス／北口2番のりば「富士山駅」行き】
- 富士急行・河口湖駅からバスで約40分
【5番線「甲府駅」行き】
- 富士急行・富士山駅からバスで約50分
【4番線「甲府駅」行き】

